

歴女がゆく

発見！私のイチ押しパワースポット VOL. 3

重要文化財

岩湧寺多宝塔

室町時代



この雰囲気！優しく包み込まれているようで大好きなんです。

見どころZOOM UP! +

相輪

相輪とは、塔の屋根から天に向かって突き出た金属製の部分（伏鉢、請花、九輪、水煙、宝珠など）の総称であり、通常は銅や鉄で作られている。中でも仏舍利（釈迦の骨）を納める宝珠は最も重要とされる。

寺院には、五重塔や三重塔などの塔があり、このような仏塔は本来、釈迦のお骨（仏舍利）を納めるための施設でした。多宝塔もこのような仏塔の一つで、下部が方形、上部が円形の平面をもつ二重形式の塔です。このような形をした塔は、中国や朝鮮半島にはなく、日本で考案されたものと考えられています。

岩湧寺の多宝塔は、室町時代の天文年間頃に建築されたものと考えられており、重要文化財に指定されています。

また平安時代末期の作とされる本尊の大日如来坐像も重要文化財に指定されているほか、本堂が市指定の文化財となっています。

こんな崖の上に経塚が…山伏修行は命懸けですね。



河内長野をとりまく山々には山伏たちが祈りを捧げた経塚や行場が数多く残されています（写真は葛城第15経塚）。



ここは葛城修験の聖地。役行者像も安置されています。

撮影当日は幸運にも岩湧寺の本堂の中も見せてもらいました。

文化財トリビア③ 経塚とは

一般的に経塚とは平安時代の中頃の末法思想と関係しているといわれています。末法思想により経典が無くなることを不安に感じた人たちは経典を地中に埋納し、釈迦が弥勒として現れる遠い未来まで残そうとして経塚を作りました。埋納する経典は、紙にだけではなく、粘土板に書いて焼いたもの、石に書いたものなど様々なものが見つかっています。



河内長野駅または三日市町駅から南海バス「神納」下車、徒歩80分、または「南青葉台口」下車、徒歩90分。岩湧の森には駐車場あり。

今月の歴女 松野准子さん

休みの日には、カメラ片手に地下足袋はいて、山伏の足跡をたどっています。中でも、ここ岩湧寺一帯の神聖な雰囲気は圧倒的！みなさんも、ちょっとした気分転換に訪れてみませんか。

